

# 音楽の飛び方

伝統は革新の連続である。  
 夜を渡るためその目を進化させ、  
 闇を振り払う大きな翼を持ったふくろうのように、  
 生命は常に生き延びる道を探し出す。  
 革新のないものは常に絶滅の危機に瀕するのだ。  
 音楽も例外ではない。革新こそが新たな生命を紡ぎ出す。

さあ、ここに革新を紡ぎ出し、  
 未来へとしなやかに進化していく音楽を紹介しよう。

ヨーラン・モンソン・バンド、そして民の謡。

本物の音楽は強靱な翼を持っている。

from Sweden

## Göran Månsson Band



ヨーラン・モンソン・バンド

## Tami no Uta (民の謡)

たみのうた



**+** Göran Månsson Band  
[www.myspace.com/goranmansson](http://www.myspace.com/goranmansson)

四代にわたるスウェーデン伝統音楽演奏の家系  
 — ヨーラン・モンソン

ヨーラン・モンソン(フルート)、ベッテル・ベルンダーレン(パーカッション)、  
 ダニエル・エーク(ギター・リュート)

全長1.6mの巨大笛「コントラバス・ブロックフルーテ」。9種類のリコーダー、フルート、ホイッスルを演奏するヨーラン・モンソン。子供の頃から伝統音楽にどっぷりついていたが、10代の頃にはオーケストラにのめり込み、プログレッシブ・ロックを聴きながらドラムを叩いていた。19才より笛に専念する事を決意し、ストックホルムの王立音楽院を卒業。バロック等のクラシック音楽ジャズなど多種多様な音楽を演奏してきた。その活動は世界で大きく広がり、日本では無印良品のBGM8に参加。今年の3度目来日は初のバンドスタイルで来日が決定。



**+** 民の謡 篠笛 森田玲  
[www.taminouta.com](http://www.taminouta.com)

岸和田だんじり祭・古典旋律の伝承者  
 — 民の謡 森田玲

森田玲、鈴原美鶴、他 (篠笛・和太鼓)

「岸和田だんじり祭囃子」の音が変わってきた事に衝撃を受け、危機感と使命感から、2000年に森田玲が「民の謡(たみのうた)」を設立。その地に育まれる旋律の一つでも多く後世に残し、その継承・発展に貢献したいとの想いで活動を行ない、今では伝統継承者に大きな影響を与える存在。「民の謡」とは「民俗音楽」を大和言葉で表現した森田玲の造語であり、篠笛の真髄はここにあると考えている。普段は、神楽殿・能舞台などの日本建築での舞台が多いが、今回はライブハウスというお客さんと近接した舞台での演奏となる。日本人の魂を揺さぶる篠笛の音と旋律を五感で感じて欲しい。



6/23日

**+** OSAKA

**+** 会場 大阪 南堀江 KNAVE (ネイヴ)  
<http://www.knave.co.jp/>  
 大阪市西区南堀江3-11-21 南堀江 Tall Valley B1F Tel. 06-6535-0691

**+** OPEN 18:30 **+** START 19:00

**+** 料金 前売 3,000円 当日 3,500円 (全席自由・1ドリンク別)

**+** チケット ハーモニーフィールズ Tel. 072-774-8838  
 民の謡 Tel. 0725-22-8662  
 KNAVE (ネイヴ) Tel. 06-6535-0691

お問合せ **+** Harmony Fields ハーモニーフィールズ Tel. 072-774-8838 [www.harmony-fields.com](http://www.harmony-fields.com)